

平成25年度全国山岳遭難対策協議会

遭難事故状況や登山届の提出方法

副会長 高橋 優

平成25年度「第50回全国山岳遭難対策協議会」(主催・文部科学省・警視庁・環境省・気象庁・消防庁)は、7月3日(日)文部科学省に於て24都道府県から230名が出席して行われました。

協議は9時30分から16時20分まで行われ、内容は以下のとおりです。

▲報告Ⅰ「平成24年度中の山岳遭難事故概況報告」警視庁生活安全局地域課課長補佐・大林昌弘氏

平成24年度の山岳遭難件数は、統計の残る昭和36年以降で最悪の発生状況となった。発生件数1998件(+6

(+1799人)死亡・行方不明者284人(+54人)

▲報告Ⅱ「亀山市消防山岳救助隊の課題と今後の取組について」三重県亀山市消防本部関消防署主幹山岳救助隊長・原博幸氏、同亀山消防署主査・上田啓介氏
新しい山岳救助隊の取組方で装備の充実・救助技術の習得講習会への出席を行政・民

間をとわず実施している。救助実施状況や救助訓練のパワーポイントを交えての今後の取組方の説明でした。

▽講演Ⅰ「黒部の現場から」阿曾原温泉小屋代表・佐々木泉氏

水平道、下の廊下での生存不可能現場での救出談話と共に、諦めないことの大切さ、気象の変化、登山道の崩落等「山は生きている」ので、先

を予測した行動をする。▽講演Ⅱ「安全登山のための登山計画書及び入下山届の新システム」長野県警察山岳遭難救助隊長・宮崎茂男氏 他

平成24年度は登山者数が最高であったが、事故も最悪の年となった。事故態様では、転落・滑落・転倒で62.2%

年代別では50・60歳代が50%である。事故事例では稜線から150m転落したが、ヘルメット、ザック着用で両足骨

折だけで救助された。県内の登山届受理数、年間約70万人に伴い、計画書作成の簡略化や連絡先必要性等の

見直し案。

「山登り10訓」宣言等にて、登山者への原則「自分にあった登山をしよう」コンパスオンライン登山届の提出方法案(個人情報流出の懸念)計画書を作成することが安全登山の第一歩である。

最後に「山岳遭難事故防止のために」安全登山宣言をして終了しました。

山岳遭難事故防止のための取り組み

登山の第一歩は、目的とする山をよく理解することからはじまります。地図を基にガイドブックや現地等から事前に山岳情報を調べること。

登山計画書を作成して、パーティー全員がその山を良く理解するとともに、体力と経験に応じた無理のない計画であるかよく検討すること。

登山計画書を家族や職場に知らせ、また、登山口の登山届ポスト、地元の警察署等に提出すること。

単独登山はやめて仲間と登り、ツェルトや救急用品、非常食を必ず携行して、ゆとりある行動を心がけて、安全に登山を行うこと。

山の事故は自己責任であることをよく考えて、山岳保険には必ず加入すること。危急時に確実に連絡を取れる手段を確保するための、無線機、携帯電話等の通信機器を持参して登山を行うこと。

登山に出発する前に目的とする山域の最新の気象情報を入手して、気象遭難を防ぐこと。

登山中は常にパーティー全員の体調や疲労に注意を払い、コースの状況・気象条件等に応じて下山するなど冷静な判断を行い、山岳遭難事故を絶対起こさない心構えで行動すること。

関係者は次のことに努める

登山計画書の提出を奨励し、計画的で安全な登山の普及に努める。

登山道、道標、トイレなどの整備とその適切な管理に努める。

今後設置する道標及び案内標示の様式、表記方法等について、可能な限り統一に努める。
詳細な山岳情報と気象情報の提供に努める。
中高年登山者やツアー登山参加者の安全確保に努める。

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店



名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739
営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番
営業時間 午前 11:00~午後 2:30
午後 4:00~午後 8:00
定休日 日曜日・第二・第三月曜日

〔山岳遭難発生状況の推移〕

平成24年中における山岳遭難は、

- 発生件数……………1, 988件 (前年対比+158件)
- 遭難者数……………2, 465人 (前年対比+261人)
- 死者・行方不明者………284人 (前年対比+9人)

【山岳遭難発生状況 (過去10年)】

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
発生件数	1,358	1,321	1,382	1,417	1,484	1,631	1,676	1,942	1,830	1,988
遭難者数	1,666	1,609	1,684	1,853	1,808	1,933	2,085	2,396	2,204	2,465
(死者・不明者)	230	267	273	278	259	281	317	294	275	284
(負傷者)	677	660	716	648	666	698	670	832	819	927
(無事救出等)	759	682	695	927	883	954	1,098	1,270	1,110	1,254

【遭難者、死者・不明者全体に占める40歳以上の者の比率 (過去10年)】

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
遭難者	総数	1,666	1,609	1,684	1,853	1,808	1,933	2,085	2,396	2,204	2,465
	うち40歳以上	1,298	1,309	1,372	1,507	1,439	1,567	1,602	1,821	1,696	1,837
	比率	77.9%	81.4%	81.5%	81.3%	79.6%	81.1%	76.8%	76.0%	77.0%	74.5%
死者・不明者	総数	230	267	273	278	259	281	317	294	275	284
	うち40歳以上	213	249	244	251	237	256	284	265	251	254
	比率	92.6%	93.3%	89.4%	90.3%	91.5%	91.1%	89.6%	90.1%	91.3%	89.4%

【態様別・月別発生状況 (人員)】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明	合計
道迷い	41	48	35	54	133	153	71	129	70	155	87	55		1,031
滑落	10	15	16	27	56	41	46	50	32	46	33	8		380
転倒	3	7	5	18	21	26	52	93	40	47	26	8		346
病気		2	5	11	14	12	49	37	22	23	7	4		186
疲労	8	2	2	2	16	9	24	31	8	21	2	6	1	132
転落	5		4	6	12	9	10	18	9	15	4	1		93
悪天候	7	2		7	8	2		3	2		1	5		37
野生動物襲撃	1			1	5		4	2	13	7	1			34
鉄砲水								14	4					18
落石				1	2		2	1	3	3				12
雪崩	2		5									1		8
落雪					3			2						5
その他	12	3	8	12	13	10	19	18	14	25	1	1		136
不明	1		2	1	6	6		3	5	10	9	4		47
悪天候以下計	23	5	15	22	37	18	25	43	41	45	12	11		297
合計	90	79	82	140	289	268	277	401	222	352	171	93	1	2,465

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002

名古屋市中区丸の内3丁目1523番地 大栄ビル204号室

TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507

URL: <http://www.nygs-office.com/>facebook: <http://www.facebook.com/nygs.office>

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-10

名古屋クロスコートタワー 1F

TEL 052-565-1417

長野県山岳遭難防止対策協会から 山岳ヘルメット着用奨励地域の指定について

県内の山岳遭難事故は、遭難件数(人数含む)が3年連続過去最高を記録するなど、極めて憂慮すべき事態となっている。

平成24年の夏山シーズンでは、遭難者の4人に1人は頭部を損傷しているが、一方、滑落した登山者がヘルメットを着用していたため、命を取り留めた事例もある。そこで滑落、転落、転倒事故の多い山岳を「山岳ヘルメット着用奨励山城」に指定し、登山時のヘルメット着用を呼びかけるとともに、所有していない登山者のためのレンタル環境を整備し、ヘルメットの着用を推進することで「自分の命は自分で守る」という意識の普及を図る。

〔着用奨励山城〕

過去の遭難事故例及び山岳の形状を考慮し、安全への配慮が特に必要となる次の山城とする。

- ▲北アルプス南部Ⅱ槍・穂高連峰のうち、北穂高岳から瀧沢岳・屏風岩、前穂高岳(北尾根から吊尾根)一帯
- 西穂高岳から奥穂高岳、北穂高岳から南岳(大キレット)
- ト)北鎌尾根・東鎌尾根の

区域

- ▲北アルプス北部Ⅱ不帰の嶮周辺、八峰キレット周辺
 - ▲南アルプスⅡ甲斐駒ヶ岳、鋸岳
 - ▲中央アルプスⅡ宝剣岳
 - ▲戸隠連邦Ⅱ戸隠山、西岳
- 但し、他の山城においてヘルメットが不要という主旨ではない。
- 〔ヘルメットのレンタル〕
次の山小屋等に配置し、有償でレンタルする。
- △北アルプス南部Ⅱ瀧沢ヒュッテ、瀧沢小屋、槍ヶ岳山荘
 - △北アルプス北部Ⅱ天狗山荘、唐松岳頂上山荘、キレット小屋、冷池山荘
 - △南アルプスⅡ長衛荘、駒仙小屋
 - △中央アルプスⅡ宝剣山荘
 - △戸隠連邦Ⅱ小鳥の森(中社)
- (戸隠登山ガイド総合事務局)
- 〔貸出に当たっての留意事項〕
山小屋等は貸出時に、次の事項について登山者の同意を得るものとする。
- ① あご紐を確実に締めて使用するなど、定められた着用方法に従うこと。
 - ② 約束した山小屋等に確実に返却すること。

③ 紛失や破損した場合は弁償すること。

〔レンタル実施期間〕

・開始 平成25年7月11日
・終期 平成28年6月まで

常任理事会

▼8月6日(火) OMCビル

〔出席者〕安藤会長、中平等、伊藤、高橋副会長、岩瀬副理事長、丹羽、杉本(三)、高木、梶山、吉村、星各常任理事

I 報告事項

1. 全国遭難対策協議会(7/3東京) 高橋
2. 東海ブロック大会(7/20) 21静岡

II 審議・お知らせ事項

1. 少年少女登山教室(8/24朝明溪谷周辺)
2. 第2回気象講習会(9/8豊川高校)
3. 中高年安全登山指導者講習会(9/27) 29県民の森
4. 第68回東京国体(9/30) 10/2東京
5. 県民登山教室(10/5朝明) 7ブナ清水) 岩瀬
6. 第2回登山勉強会(10/8県スポ) 高木
7. 第12回植生保護活動(10/26鈴北岳) 杉本(三)
8. 高体連秋季登山講習会(10/26) 27釈迦ヶ岳
9. 第52回全日本登山大会(11/8) 10茨城) 梶山
10. 高体連新人大会(11/9) 10釈迦ヶ岳
11. 第34回自然観察会(11/10鈴鹿お金明神) 杉本(三)
12. 自然保護委員会(11/12県スポ) 杉本(三)
13. 第17回「遭難を考える」講演会(11/29県スポ) 大城先生・山の救急
14. 第1回Jrクライミング記録会(12/14キユーブ)
15. 冬山遭対会議(12/19県スポ) 高橋

月日	内容
9. 3	常任理事会 (OMCビル)
9. 8	第2回気象講習会 (豊川高校)
9.10	県民登山説明会 (県スポーツ会館)
9.27~29	中高年安全登山指導者講習会 (愛知県)
9.30~10.2	第68回東京国体
10. 1	常任理事会 (OMCビル)
10. 8	第2回登山勉強会 (県スポーツ会館)
10.15	(東三)
10.22	第3回理事会 (県スポーツ会館)
10.26~27	高体連・秋季登山講習 (釈迦ヶ岳)
10.26	第12回植生保護活動 (鈴北岳)

◆ 9・10月スケジュー

観光庁長官登録旅行業第490号(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツア サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211
〒450-0002 名古屋市市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
ホームページ <http://www.alpine-tour.com>

Renopoint
<http://www.renoint.jp>

Original Wear & Goods
オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
カジュアルユニフォーム&グッズ
デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renoint.jp